

サンカイ【S.R.C.#1000】

BIOTEC TRADE

BIOTEC TRADE

<http://www.bio-tec.jp/>

サンカイ「S.R.C # 1000 ストロング」の使用方法

1. 垂直部

垂直部分等のサビ・スケール除去を目的とする場合は、表面にサンカイ「S. R. C. # 1000 ストロング」を充分スプレーし、その上に新和耗等を張り付けて 10～15 分放置すると、簡単に除去できます。

2. 垂直部ー2

垂直部分には、別途ゲル状タイプも用意しております、使用方法等は刷毛なので、作業部分に塗布し、サビが取れるまで約10～20 分間放置してください。

サビの発生状況等により、塗布量及び時間関係は異なります。

3. ボルト、ナット

ボルト・ナット等がサビで動かなくなった場合は、スポイト等でサンカイ「S. R. C. # 1000 ストロング」を注入し、10～15 分放置すると、どんな場合でも簡単に外せます。

4. 浸漬

浸漬できるものは、これが一番簡単な良い方法です。夕方対象物をサンカイ「S. R. C. # 1000 ストロング」の浸漬槽に投入して帰り、翌朝取り出せば、サビ・付着物等はきれいになくなっています。

5. パイプ内

パイピング内の清掃は、内部にサンカイ「S. R. C. # 1000 ストロング」を注入し、循環させて下さい、場合により、パイプ内に注入しておくだけでも大丈夫です。

6. 船等の塗装面

鉄鋼幾等の塗料の表面に汚れが付着したり、デッキ等より鉄サビ等がリークして汚れた場合、サンカイ「S. R. C. # 1000 ストロング」をスプレーするか、布に含浸させてふき取ると、汚れはすべて除去できます。

但し、塗料等は絶対に傷めませんので、清掃が非常に便利です。

また、部品等はポリバケツにサンカイ「S. R. C. # 1000 ストロング」を注ぎ、「4. 」の様に浸漬して下さい。新品のようにきれいになります。

S. R. C. #1000 ストロング (無公害サビ除去剤)

世界で唯一の、アルカリ土類金属を主剤としたサビ・スケール及び付着コンクリートの無公害除去剤。

1. サビ除去剤

サビ・スケール・カーボン等の付着した器具機材を、損傷や侵食することなく除去します。鉄などの酸化皮膜は除去しますが、生地のアルミ・亜鉛以外の金属は酸蝕しません。船舶の船底についた貝殻の除去にも有効です。

2. コンクリートの肌荒らし剤

コンクリート表面の肌荒らしに使用しますと、塗布後約 5 分で 5mm 浸透します。従って、塗布 5 分後に水洗するとコンクリートの表面 5mm の荒れ肌が容易に得られます。

3. セメントモルタルの剥離剤

付着した全ゆるセメントモルタルの表面に、本製品の原液を十分にスプレーする。7～8 分放置すると既に剥離しています。

4. パイプ内の特殊清掃剤

クーリング・タワー、ボイラー等のパイプの清掃には金属の地肌を傷めずにカルシウム系のスケールをきれいに除去します。ビル内のパイプ清掃にも大きな実績を上げています。例えば、東京の丸の内にある東京海上火災本社ビルの全てのビル内水流パイプを、僅か半日で完全に清掃した実績もあります。また、温泉地の給湯パイプの清掃にも大変有効です。

この他に、精密機械の酸洗いや、エレクトロニクス関係のプリント基盤の洗浄にも極めて高い利用が期待されます。

また本製品の利点として、作用の際にガス発生が少ない、一般塗装・メッキ塗装及びゴム質を傷めることがない等があります。

ご使用方法は、状況により水との希釈率を加減して(例えばステンレスの場合で 1:1～3)スプレー・刷毛塗り・浸漬等で行って下さい。

人体に付着しても毒性はありませんが、場合によっては刺激性がありますので水洗いをして下さい。

なお、軟質ナイロンフィルム・アルミ・亜鉛には使用出来ません。

サンカイ S.R.C # 1000 ストロングの用途

1. あらゆるサビの除去
2. パイピング内側のサビ・スケールの除去
3. 鑄造後のスケール落とし
4. 鉄等の酸化被膜(黒草)の除去
5. 機械、兵器等のオーバーホール
6. 塗膜面及び F. R. P. 等にリークしたサビの除去及び汚れ落とし
7. オイルフェンス等に付着した藻・貝類の除去
8. クーリングタワー内のスケール落とし及び清掃
9. コンクリート表面の肌荒らし
10. 熱交換機の清掃
11. モルタルの付着落とし(コンクリートミキサー内、型枠等)
12. 金型等の清掃
13. 下水処理場のスクリーンの清掃
14. 澱粉工場のパイプ内クリーニング
15. 蒸留釜の清掃

サンカイ「S. R. C. #1000 ストロング」
作業上の注意事項

1. 作業中万一目に入った場合は、直ちに十分な水洗いをし、医師にご相談下さい。
2. 手や指等に切り傷等がある場合はしみますので、作業の際にはゴム手袋等をご使用下さい。
3. 軟質ビニール系は溶解しますのでご注意下さい。
4. 密閉された室内でのご使用は避けて下さい。また、室内でのご使用になる場合は換気に充分ご注意下さい
5. サビ、スケール等の除去後は、直ちに十分な水洗い若しくは布等で十分に拭き取って下さい。
6. コンクリート等の床に万一こぼした場合は、直ちに水で洗い流して下さい。
7. サンカイ「S. R. C. #1000」の排水処理は、PHが4～5の場合は水等で2～3倍に薄めて流して下さい。PHが1～4の場合には生石灰等で中和して流して下さい。
8. サンカイ「S. R. C. #1000」を使用する場合の浸漬槽は、金属製及びコンクリート槽は避け、F. R. P.、塩ビ、木等の材質の物をご使用下さい。
サンカイ「S. R. C. #1000」は毒物・劇物等は一切含まれておりませんので、商品は普通物扱いです。また、PHI で強酸ですが特殊インヒビターの働きで性質の違う酸に置か換えられております。よって人体には影響なく安心してご使用いただけます。

以上

S. R. C. #1000 の廃液処理について

「S. R. C. #1000 ストロング」は PH1(原液)ですが、特殊開発されたインヒビターの作用により、全く別の酸に置き換えられております。通常、錆類は PH1~2 でないと除去できません。しかし、「S. R. C. #1000 ストロング」は上記インヒビターの作用により、金属の表面を侵食したり、塗料を剥離したり、硬質あるいは軟質のゴム等を傷めることもなく、直接手に触れても安全です。

廃液処理の方法

1. 廃液が PH5 以上であれば、水等で 2 倍に薄めて廃棄してください。
2. 廃液が PH4 以下であれば、生石灰等で中和して廃棄して下さい。

尚、カタログの裏面に示されている「S. R. C. #1000 ストロング」廃液処理試験値は、PH6になったものです。

取り扱い上の注意

1. 使用時には出来るだけゴム手袋を使用してください。(万一、手等に傷がある場合は、しみますのでご注意ください。)
2. 目等に入った場合は、直ちに十分な水洗いをしてください。
3. 軟質系のビニール(女性のストッキング、ビニールのテーブルクロス等)は、溶解しますのでご注意ください。その他の樹脂、F. R. P.、塩ビ系等は影響ありません。

製品の保管

1. 完全密封の上冷暗所に保管してください。その場合、性状は 3~4 年変化しません。
2. 製品の保管は、プラスチック系統(F. R. P.、塩ビ等)、ガラス、木質等の容器を使用してください。金属製の容器は一切使用しないでください。

クーリングタワーの内部洗浄手順

- ・クーリングタワー内の水を抜き、コックを閉める。
 - ・2 倍又は 3 倍に水で希釈した「S. R. C. # 1000」をクーリングタワー内に注入する。希釈水の量は、クーリングタワーの容量の約 60%とする。
 - ・クーリングタワーを 20～30 分運転した後、コックを開き希釈水を抜き取る。その際希釈水はフィルターを通過させて保管し、次の清掃に使用する。(使用有効回数は 3～4 回)
- ※ 「S. R. C. # 1000」はパイプ内のスケール・錆及びその他付着物を完全に剥離しパイプ外に流出させ、(熱交換機も)新品同様に清掃します。

主たる「S. R. C. # 1000」によるクーリングタワーの内部洗浄工事 ＜パイプ内のスケール除去及び熱交換機の洗浄等＞

① 日産自動車(株)追浜工場

② 日産自動車(株)厚木テクニカルセンター

③ 三菱重工業(株)長崎造船所

配管清掃工事手順

- ・鉄緒の状況により、「S. R. C. # 1000」の原液を 2 倍又は 3 倍に水で希釈する。
 - ・配管内部の水を抜き、「S. R. C. # 1000」の希釈水を注入する。
 - ・20～30 分又は 60 分位滞留させてから希釈水を抜き取る。その際、ストレーナー等を通して容器に保管し、次のパイプ洗浄に使用する。(使用有効回数は 4～5 回)
 - ・パイプ内を十分に水洗浄するか防錆剤等を注入する。
- ※ 「S. R. C. # 1000」は、鉄錆及びスケール等を肉眼で見えない程の微粒子に分解剥離します。

主たる「S. R. C. #1000」による配管清掃工事

- ① 東京海上火災保険(株)本店ビル
- ② 新国際ビル(赤坂) 日商岩井入室
飲料用配管清掃工事(全体)
施工著:日本清管工事(株)
- ③ 富士写真フィルム本社ビル(青山)
- ④ 日本国際会館(六本木)
◎その他都内マンション等多数

清掃用として使用する場合

FRP, 塩化ビニールまたはプラスチック構造物、例えばクーリング・タワー、水槽、FRP 船等の金具部分より、リークした錆・汚れ等は布に S. R. C. #1000 を浸して拭き取ると、簡単にきれいになります。また、プラスチック製品の製造において金型等の錆が付着した場合も同様です。トイレ等の配管が詰まった場合は、S・R・C・#1000 を 300～500 \times 程注入すれば、10～15 分後にカルシウム系等の硬化した詰まりは簡単に抜けます。その後、3 倍程度の水を流して終わりです。

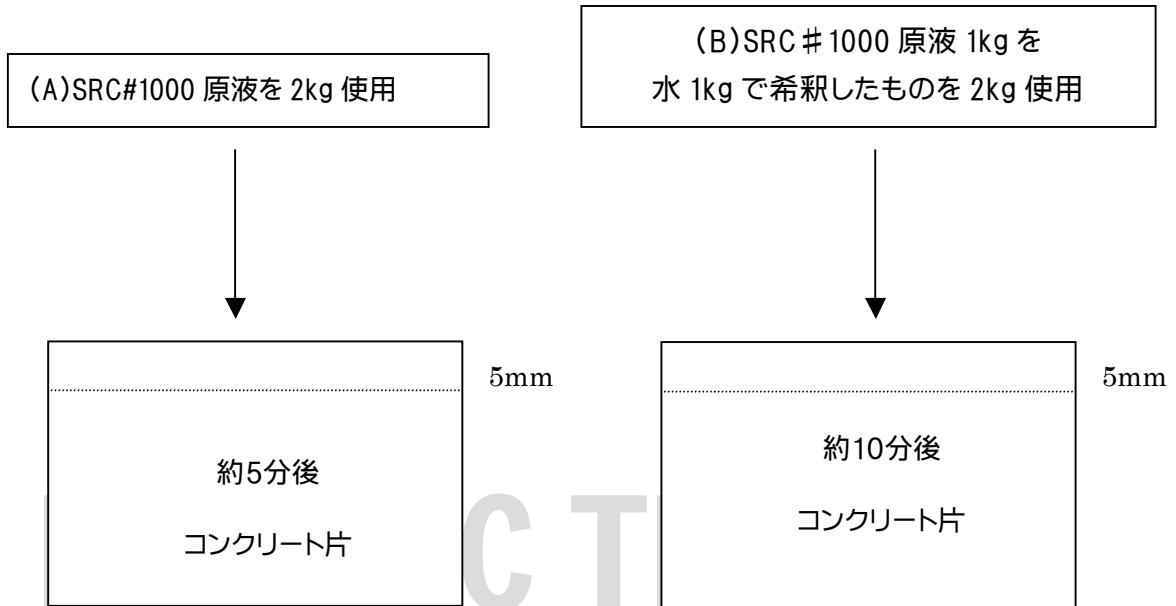
貝殻の除去に使用する場合

1. 船底及び海洋構築物、ロープ、オイルフェンス等に付着した貝殻等は、スプレーするだけで簡単に除去できます。
 2. FRP 船及びタンク等に、金具等より錆が表面にリークし付着した場合、布等に S. R. C. #1000 をつけて軽く拭き取ると、見違えるようにきれいになります。
身体等に S. R. C. #1000 が付着しても、全く無公害なので安心してご利用いただけます。
- 以上

S. R. C. #1000 による コンクリート表面のエッチングテスト結果

1・1m角×厚さ 30cm のコンクリート片を作り、30 日間自然養生したものを準備使用する。

2・同上コンクリート面に S. R. C. #1000 スタンダードを表面に 2kg を流し、5 分間放置し、水洗した結果は次の通りです。



テスト(A)は5分間放置後水洗し、調べた結果はコンクリート面約5mmの深さに平均した肌荒らしが完了した。また、(B)の場合は希釈したために時間的には(A)の倍を要した。

尚、化学的調査の結果、約5mm程浸透した時点でS. R. C. #1000の酸とコンクリートのアルカリが完全中和され、それ以上の奥まで浸透しコンクリートを損傷することがなく、コンクリートの強度に対しても全く変化がないことが判明致しました。(JIS規格によるコンクリート破壊強度テスト及び対衝撃テストによる。) これらの好結果を得られる理由は、弊社が独自に開発したS. R. C. #1000に含まれている優れたインヒビターの働きによるものと確信致します。

結論として、コンクリート面のエッチング及び肌荒らし用として最適であることが判明致しました。従って、当製品はコンクリート面の肌荒らし及びエッチング用としての販売が可能であることを証明致します。

ボイラーの清掃

1. まずボイラー内部の水抜きを行います。その後、栓を閉めてから、水で 1:1 に希釈したサンカイ「S. R. C. #1000 ストロング」を、ボイラーの容量にしたがって最低限可能な量を注入します。
2. 次に約 20～30 分間ボイラーを運転させます
3. その後、栓を開きサンカイ「S. R. C. #1000 ストロング」と水を混合した液体を排出します。
その際に、パイプ内部に付着していたカルシウム・スケール・サビは完全に除去されます。したがって、ボイラー内部も新品同様となります。
4. 次に栓を閉めて水を満タンにし、ボイラーのスイッチを入れて 5～6 分間運転します。
5. 水を完全に抜き、新しい水を満タンにして作業は終了します。
金属面及び塗装面を傷める心配は全くありません。(対象金属を確認のこと)

BIOTEC TRADE

S. R. C. #1000」によるセメントモルタル 及びコンクリートの剥離について

掲題の件につき下記の要領に従って作業して下さい。

1. 直接「S. R. C. #1000 ストロング」を十分にスプレーすると 7～8 分後に剥離します。
万が一それでも剥離しない場合は再度スプレーするか、裏面から木槌等で叩いて下さい。
2. 浸漬出来るような小物類(例えばモルタルコテ、スコップ類)及びその他器具類等の場合は、F. R. P.・塩ビ・木等の槽に「S. R. C. #1000 ストロング」を入れた容器に直接浸漬して下さい。
3. モルタルミキサー内等に付着したモルタルを剥離する場合は直接「S. R. C. #1000 ストロング」の溶液を流し込んで浸漬して下さい。(約 5～10 時間)
4. メタルフォーム等長尺物の場合は木製の長い槽を作り、その中に浸漬して置くと、一晩で完全に剥

離します。「S. R. C. #1000 ストロング」は既存の塗料を一切傷めたり剥離せずに、錆や付着物のみを剥離します。また硬質ゴム類のパッキン類を損傷することもありまことありません。

5. 何れの場合も作業後直ちに十分な水洗いを必ず行って下さい。

注:未だ効力のある「S. R. C. #1000」を排水する場合は、石灰等で pH6 以上に中和し、さらに水で薄めてから排水して下さい。

BIOTEC TRADE